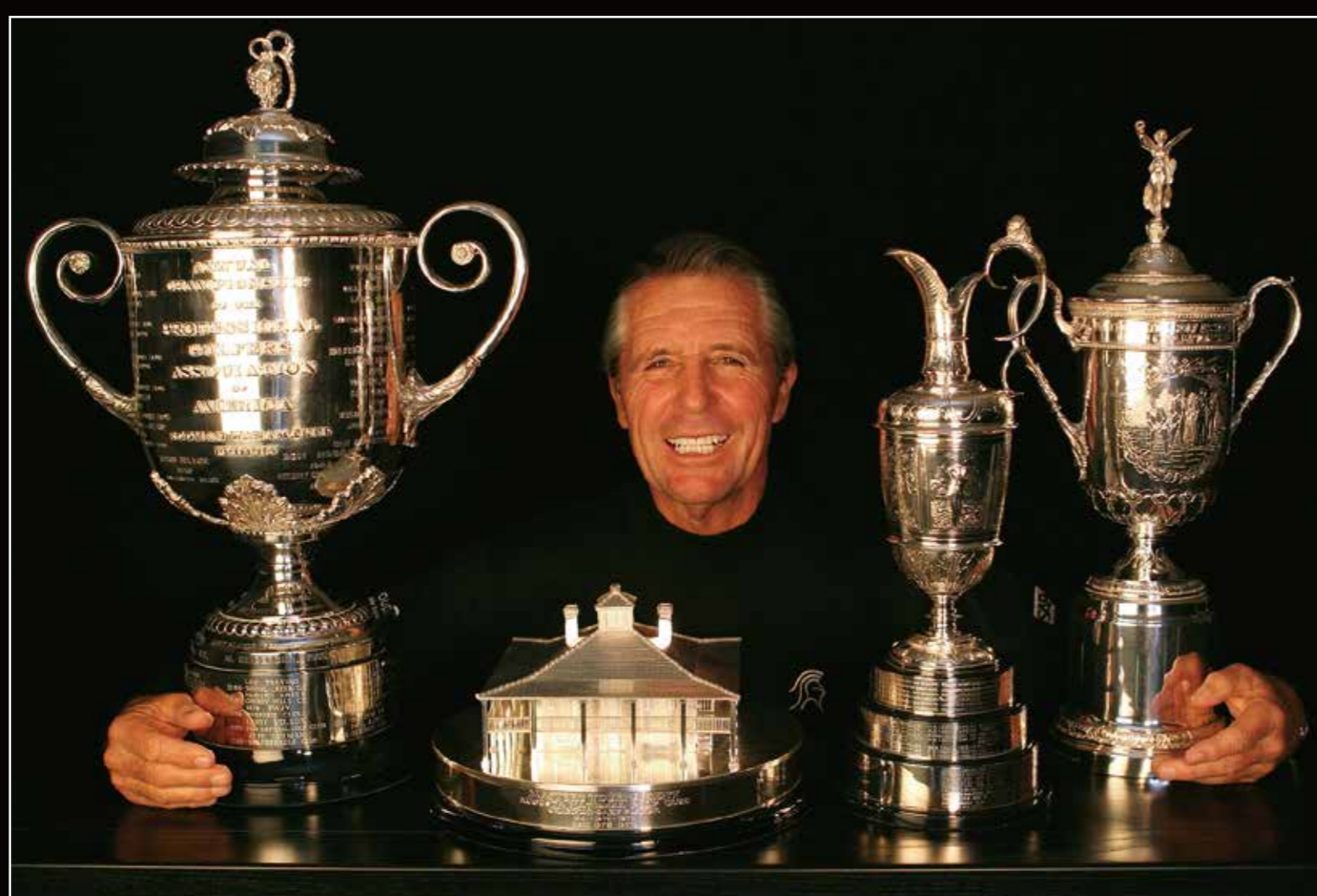


「キッズゴルフクリニック&懇親会」 参加児童募集要項

2016年春。東日本大震災から丸5年の節目に、東日本大震災で被災した子ども達の自立支援、社会的擁護を要する世界の子ども達の支援を目的に、世界のゴルフ界のレジェンド「ゲリー・プレーヤー」をお招きし、チャリティ企画「The Gary Player Invitational, SOK Japan」を開催致します。

本企画のメイン企画として、ゴルファー憧れの聖地・霞ヶ関カンツリー倶楽部(2020 夏季オリンピックゴルフ競技開催会場)で、ゲリー・プレーヤーの手ほどきにより開催する「キッズゴルフクリニック」の参加者を下記のとおり募集致します。



募集要項

1.日時:

2016年3月22日(火)8:00~14:30(集合・受付7:00~解散14:30予定)

集合場所:霞ヶ関カンツリー倶楽部ロビー「SOK キッズゴルフクリニック」受付

※参加児童と同伴の保護者、一緒に受付させて頂きます。

2.会場:

霞ヶ関カンツリー倶楽部 埼玉県川越市大字笠幡3398

ホームページ:www.kasumigasekicc.or.jp

3.募集人数:

合計100名(被災地招待枠30名含む)、抽選方式で決定

4.講師:

ゲリー・プレーヤー
横尾 要
ゲリー・プレーヤー ゴルフアカデミースタッフ
国内プロゴルファーほか



ゲリー・プレーヤー



横尾 要

5.参加資格:

現在小学3年生~6年生(9歳~12歳)の男女児童

※2015年12月11日現在の学年。 ※いずれも、保護者が必ず同伴できること。 ※未経験者可。

6.持ち物:

グローブ・シューズ(スパイク不可)・運動できる服装(アンダーシャツ等)

※懇親会にて軽食をご用意致しますので昼食は不要です。

7.参加特典:

大会参加記念品(キャディーバッグ、クラブ、帽子を予定)

8.参加費:5,000円(税込)

※参加費の一部は、東日本大震災被災児童自立支援活動に充当されます。

※参加する児童の参加費と保護者、同伴者の観戦費を含みます。

※現地までの交通費、宿泊費等の諸経費は、ご自身の負担になります。

9.応募方法:

ローチケHMVで販売(http://l-tike.com/support_our_kids)

ローチケ ゲーリー 検索

10.締め切り:2016年2月20日(土)

(注意事項)

- ・ゴルフ場内会場では、霞ヶ関カンツリー倶楽部の諸規定を厳守し、係員の指示に従って行動してください。
- ・指定エリア以外は立入禁止です。指定エリア以外の施設はご利用になれません。
- ・クリニックに参加するお子さんは、参加特典の大会記念キャップを着帽して参加していただきます。(ウェア上下、シューズは各自でご用意ください)
- ・同伴者は、2名までご入場になれます。同伴者は係員の誘導に従い、ゴルフ場内の観戦エリアおよび所定エリアのみご入場していただけます。
- ・その他、当日の会場内の案内表示、配布物の注意事項をご覧ください。
- ・当日は、クリニック終了後、クラブハウス内にて懇親会を開催します。同伴者もご入場いただけます。

主催:The Gary Player Invitational, SOK Japan実行委員会

■共催:Support Our Kids 実行委員会 ■特別協賛:マツダ株式会社 ■協賛:株式会社ブルボン、株式会社コーセー、サントリー株式会社、株式会社ゴルフパートナー、株式会社倉元製作所、株式会社アバマンショップネットワーク(順不同)

■協力:プリンスホテル、霞ヶ関カンツリー倶楽部、ゲリー・プレーヤーゴルフアカデミー、メイ・コーポレーション、日本舞踊芸術文化協会、航空自衛隊入間基地、アゼリーグループ、東北福祉大学、株式会社クロス・ビー、GTF実行委員会、ゴルフダイジェスト社、TBS、TOKYO MX、TOKYO FM、JFN、読売新聞社、公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟 ※申請中含む・順不同

お問い合わせ

The Gary Player Invitational, SOK Japan事務局

〒102-0083東京都千代田区麹町2-12-6ミツリ麹町ビル3F(特定非営利活動法人次代の創造工房内)

TEL.03-6272-6252 gpi@jidai.or.jp



Support Our Kids Project とは

“東日本大震災被災児童の自立支援”“復興のリーダーづくり”を目的に発足。主たる活動は、世界11カ国の大使館や外務省と連携し実施している「海外ホームステイを通じた被災児童の自立心育成活動」。これまでに海外に渡った子ども達は296名を数える(2016年2月現在)。「世界」「歴史」「多くの人々の温もり」に触れ、帰国した子ども達は、「今度は自分達が誰かの為に」と自発的に復興プロジェクト「HABATAKI」を始動。ひとりでも多くの子ども達が自らの手で明るい未来を切り拓いてゆけるよう、理解と支援の環を拡げながら震災から10年、2020年まで活動を継続する。

<http://support-our-kids.org/ja/>

www.facebook.com/jidai.or.jp @SOK_Japan